

## 回復ドライブ作成

(パソコンの起動不能に備え、転ばぬ先の杖)

JJ1SXA/池

普通に稼働していたパソコンが突然起動しなくなった、頭真っ白、そんな思わぬトラブルが発生した場合に備えて、USBメモリーから起動して復旧作業ができる「回復ドライブ」を作成しておきたい。

### 回復ドライブでできること。

- スタートアップ修復
- アップデート前の状態に戻す
- システムの復元
- リカバリー

「回復ドライブ」はWindowsの標準機能で作成できる、回復ドライブの作成は、検索ボックスに「回復ドライブ」と入力すると、下図のような回復ドライブのアイコンが出て来る。



## 回復ドライブ

これをクリックすると、「回復ドライブの作成」画面になるので、下の方にある、「システムファイルを回復ドライブにバックアップする」にチェックを入れる。

「USBフラッシュドライブ接続」画面で必要な容量が示されるので、示された容量以上のUSBメモリーをパソコンに挿す、「フラッシュドライブの選択」画面で回復ドライブを作成するUSBメモリーを選択。

「回復ドライブの作成」画面で「作成」をクリック（「ドライブ上のすべてのデータが削除されます。このドライブに個人ファイルが含まれている場合…」との確認画面が出るが、構わず「作成」ボタンをクリック）。

これで「回復ドライブ」の作成が始まり、「回復ドライブの準備ができました」と表示されたら作業は終了。（一寸時間がかかるので我慢、我慢です）

Windowsが起動しなくなったら、先ず回復ドライブ（USBメモリー）から起動して「スタートアップ修復」を試す。

「回復ドライブ」をパソコンに挿して電源投入で回復ドライブから起動する。（起動しない場合は後述の作業が必用）

起動すると「キーボードレイアウトの選択」が開く、「Microsoft IME」を選ぶ、「オプションの選択」では「トラブルシューティング」を選ぶ。

「トラブルシューティング」の「詳細オプション」画面で、「スタートアップ修復」を選ぶ、

スタートアップ修復で、対象となるOSを選択する。(現在使っているOSが表示されるのでそれを選択)、これで、修復が開始され、修復が完了するとWindowsが再起動し完了だ。

修復に失敗すると、「スタートアップ修復できませんでした」という画面が出るが、ここで右下の「詳細オプション」をクリックすると、「オプション選択」の画面に戻るので再試行すると成功する場合がある、諦め無いことだ。

更新プログラムをインストールした後に起動しなくなった場合は、前記の「詳細オプション」の左下の「更新プログラムのアンインストール」で更新プログラムを削除すると復旧する場合がある、アップデート前の状態に戻すということだ。

また、「詳細オプション」の画面右中段の「システムの復元」を選択、続いて復元するOSを選択、ウィザードが始まるので「次へ」をクリック、「手動もしくは自動で作成された復元ポイント」を選択し、更に「次へ」を押して確認画面で「完了」をクリックすると復元作業が始まる、作業が完了したら再起動を選ぶ、これでシステムの復元完了だ。

どうしてもWindowsが起動しない場合は、最終手段としてリカバリーだ、この場合は個人データはすべて消えるので、別のOS(例えば、Chrome OS Flex)で起動して、必要なデータを外付けのHDDやSSD等にバックアップしておく。

バックアップが済んだら、「キーボードレイアウトの設定」→「オプションの選択」で「ドライブから回復する」を選択、Cドライブを初期化する方法を尋ねられるので「ファイルの削除のみを行う」を選択、確認画面で「回復」をクリックするとリカバリーが始まる、後は画面の指示に従って作業を進めれば良い。

前記した、「Chrome OS Flex」は、Googleが無償で提供する、WindowsでもMacでも無い独自OSだ。

Windowsパソコン上でも動作するし、CドライブにインストールしなくてもUSBメモリーから起動できるので、既存のWindows環境に手をつけずに手軽に試せる優れたものだ、設定方法とデータの救出方法を別記事で紹介しています。

TWO-FORTY誌第114号・番外編(2022年12月発行予定)に連載予定  
(WEBでは先行発表)

(2022年10月記)